

2013年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科						
科目名	生物化学I						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	神武 洋二郎						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・アミノ酸の構造と名称が一致する。 ・糖(炭水化物)の構造と名称が一致する。 ・酵素の名称からその酵素の触媒する反応を分類できる。 ・タンパク質、糖、脂質、核酸などの生体分子について、それぞれ化学的な構造、性質、反応性、機能を説明できる。 						
日程と内容	4/12：導入講義（授業の進め方と概要の説明、成績評価法の説明。生体分子の種類や構造を概説。） 4/19：タンパク質、アミノ酸の構造と機能 4/26：タンパク質、アミノ酸の代謝と合成 5/3：糖（炭水化物）の構造と機能 5/10：糖（炭水化物）の代謝、解糖系 5/17：脂質の種類と構造と機能 5/24：脂質の代謝、脂肪酸の合成 5/31：核酸の基本構造 6/7：DNAの高次構造とRNAの種類 6/14：核酸とタンパク質の合成-複製- 6/21：核酸とタンパク質の合成-遺伝子転写・翻訳- 6/28：ビタミンの構造と機能 7/5：シグナル伝達の生化学（1） 7/12：シグナル伝達の生化学（2） 7/19：酵素の性質・種類・反応 7/26：定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題						
	演習	30%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・アミノ酸の構造と名称が一致する。:達成した ・糖(炭水化物)の構造と名称が一致する。:達成した ・酵素の名称からその酵素の触媒する反応を分類できる。:達成した ・タンパク質、糖、脂質、核酸などの生体分子について、それぞれ化学的な構造、性質、反応性、機能を説明できる。:達成した 						
反省点	予習・復習の項目の点数が3.7と、平均値3.6より弱冠いい値であったが、他の項目と比較して低かった。毎回前の授業の演習問題を授業始めに出していたことから、復習はやりやすかったと思われるが、予習の指導が不十分であると思われた。						
来年度の計画	授業最後に、次回の予習を行いやすいように、教科書の該当ページと簡単な概要を説明を行う。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業評価は8.7点と問題ない。全設問項目の平均値もおおむね良好であった。しかし、予習・復習の項目の平均値が3.7と弱冠低かった。自己学習を促す工夫がより必要である。全体的に分かりやすかったというコメントが多かった。						
履修登録者数	102名	定期試験 受験者数	99名	合格者数	97名	合格率	98%